

# 平成30年度事業計画

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

## 1 基本方針

今日、我が国は物質的には豊かになったが、未だ様々な「不均衡」があふれており、「生きる意味のない命」があるかのように人を分断する事件・事象も起こっている。

しかし、一人ひとりの存在そのものは、すべてが等しく光り輝いている個性であり、その輝き、すなわち「尊厳」を認め合う共生社会の実現が急務である。

糸賀一雄氏の思想は、あらゆる人の尊厳を等しく尊重するという、障害の有無、年齢、性別、国籍等を問わない普遍的思想であり、今こそ国内外や未来に発信すべき指針（道しるべ）である。

当財団では、この思想を受け継ぎ、次の時代へ確実に伝え、今の時代に求められる福祉の「ひとづくり」を進めるため、「糸賀一雄記念賞」や「先人に学ぶ『福祉しが』人づくり発信拠点事業」を継続実施するとともに、新たに厚生労働省の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」を受託するなどにより、障害者など生きづらさがある人やその家族が安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。

また、「中期経営計画」に基づき、当財団の自主的・主体的な運営の確立に向けて、種々の事業を進めるとともに賛助会員を増やすなどにより財政基盤の強化を目指す。

## 2 事業計画

### (1) 啓発事業

ア 福祉分野以外（企業、まちづくり、男女共同参画など）との連携強化に向けた協議調整

イ ブックレット「ほほえむちから」を使った「語り部」による啓発活動の実施

### (2) 表彰事業

ア 平成30年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および団体の募集、並びに選考委員会の開催

イ 平成30年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の授賞式の開催

### (3) 財政基盤の強化

賛助会員の拡大を図るとともに、ブックレット「ほほえむちから」の頒布により自主財源の確保に努める。

### (4) 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

ア 県立長寿社会福祉センター内の展示スペースの運営

イ 福祉現場の若手・中堅職員を対象としたワークショップの開催

ウ 糸賀一雄氏ら先人の関連資料の展示・収集

### (5) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業の受託

障害福祉従事者、事業経営者が共生社会の基本理念等を学び実践につなげることを目的とした厚生労働省の研修事業を当財団が受託し、研修会の実施を通じて、今の福祉現場で必要とされる「価値観」を語る**ことができる**「語り部」を確保・育成する。

### (6) 関連事業

糸賀一雄記念賞第十七回音楽祭の実行委員会への参加

### (7) 広報事業

財団広報誌の発行やホームページの運営

# 収 支 予 算 書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,000	41,000	△ 39,000	
受取会費	-	500,000	△ 500,000	
事業収益	12,165,000	3,515,000	8,650,000	
受取補助金等	9,134,000	8,494,000	640,000	
受取寄付金	3,000,000	1,500,000	1,500,000	
雑収益	1,000	1,000	-	
経常収益計	24,302,000	14,051,000	10,251,000	
(2) 経常費用				
事業費	19,828,000	8,415,000	11,413,000	
管理費	5,024,000	5,636,000	△ 612,000	
経常費用計	24,852,000	14,051,000	10,801,000	
(うち人件費)	7,852,000	6,878,000	974,000	
評価損益等調整前当期 経常増減額	△ 550,000	-	△ 550,000	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	△ 550,000	-	△ 550,000	
当期一般正味財産増減 額	△ 550,000	-	△ 550,000	
一般正味財産期首残高	1,980,462	1,500,000	480,462	
一般正味財産期末残高	1,430,462	1,500,000	△ 69,538	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取会費	550,000	-	550,000	
一般正味財産への振替額	△ 3,000,000	△ 1,000,000	△ 2,000,000	
当期指定正味財産増減 額	△ 2,450,000	△ 1,000,000	△ 1,450,000	
指定正味財産期首残高	63,817,110	62,939,110	878,000	
指定正味財産期末残高	61,367,110	61,939,110	△ 572,000	
<b>III 正味財産期末残高</b>	62,797,572	63,439,110	△ 641,538	

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,000	—	1,000	—	2,000
事業収益	12,165,000	—	—	—	12,165,000
受取補助金等	5,176,000	—	3,958,000	—	9,134,000
受取寄付金	2,100,000	—	900,000	—	3,000,000
雑収益	1,000	—	—	—	1,000
経常収益計	19,443,000	—	4,859,000	—	24,302,000
(2) 経常費用					
事業費	19,828,000	—	—	—	19,828,000
管理費	—	—	5,024,000	—	5,024,000
経常費用計	19,828,000	—	5,024,000	—	24,852,000
(うち人件費)	5,143,000	—	2,709,000	—	7,852,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	△ 385,000	—	△ 165,000	—	△ 550,000
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 385,000	—	△ 165,000	—	△ 550,000
当期一般正味財産増減 額	△ 385,000	—	△ 165,000	—	△ 550,000
一般正味財産期首残高	1,980,462	—	—	—	1,980,462
一般正味財産期末残高	1,595,462	—	△ 165,000	—	1,430,462
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取会費	385,000	—	165,000	—	550,000
一般正味財産への振替額	△ 2,100,000	—	△ 900,000	—	△ 3,000,000
当期指定正味財産増減 額	△ 1,715,000	—	△ 735,000	—	△ 2,450,000
指定正味財産期首残高	44,671,977	—	19,145,133	—	63,817,110
指定正味財産期末残高	42,956,977	—	18,410,133	—	61,367,110
<b>III 正味財産期末残高</b>	44,552,439	—	18,245,133	—	62,797,572

# 資金調達および設備投資の見込みについて

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

## 1 資金調達の見込みについて

なし

## 2 設備投資の見込みについて

なし

# 平成29年度事業報告

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

今後の福祉の発展と人づくり、意識づくりを図り、障害者やその家族が生涯にわたって安心して生活できる福祉社会の実現に寄与するため、糸賀一雄氏ら先人の福祉の実践と思想の普及や、糸賀一雄記念賞および同未来賞の表彰など、諸事業を実施した。

## 1 表彰に関する事業

### (1) 糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および候補団体の募集

募集期間を平成29年5月29日から平成29年7月31日までの期間とし、候補者および候補団体の募集を行った。

### (2) 選考委員会の開催

平成29年8月24日（木）KKRホテル東京において選考委員会を開催し、次の受賞者を選考した。

ア 記念賞 明石洋子氏・明石徹之氏（神奈川県）、奥田知志氏（福岡県）

イ 記念未来賞 バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる（大阪府）、花戸貴司氏（滋賀県）

### (3) 授賞式・シンポジウム等の開催

ア 日時 平成29年11月2日（木）

イ 場所 びわ湖ホール小ホール

ウ シンポジウム「生きづらさを抱える人の支援を考える」

エ 受賞者記念スピーチ

## 2 糸賀一雄記念賞関連事業への協力

関連事業として開催された糸賀一雄記念賞第十六回音楽祭の実行委員会に参加した。

## 3 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

滋賀県との先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業委託契約に基づき、県立長寿社会福祉センター内の展示スペースにパネル展示等を行い、糸賀一雄氏らの実践と思想の発信、啓発を図った。

また、平成29年11月30日には日野町の救護施設「ひのたに園」で、平成29年12月15日には特別養護老人ホーム「カーサ月の輪」で福祉現場職員に対し、ワークショップ「語りの場」を開催し研修を行った。

## 4 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業受託に向けた準備

糸賀思想普及の方法について理事会協議を何度も行い、次年度厚生労働省の表記新規事業の受託を目指すこととなった。ワーキンググループを立ち上げ、研修プログラム素案を作成し、アメニティーフォーラム22に集まった全国の実践者との意見交換を行い、技術提案の熟度を深めた。

## 5 啓発事業

啓発冊子ブックレット「ほほえむちから」を5,000部増刷するとともに、販売促進リーフレットを作成した。

障害者の文化芸術国際交流事業（2017ジャパン×ナントプロジェクト）に参加し、糸賀一雄紹介パンフレット（フランス語版）を作成・配布し、思想の普及啓発に努めた。

# 正味財産増減計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	18,260	39,455	△ 21,195
受取会費	558,000	486,000	72,000
事業収益	3,019,700	3,474,000	△ 454,300
受取補助金等	9,122,000	8,494,000	628,000
受取寄付金	1,018,000	1,006,000	12,000
雑収益	22	28,561	△ 28,539
経常収益計	13,735,982	13,528,016	207,966
(2) 経常費用			
事業費	10,827,865	8,470,357	2,357,508
管理費	5,486,538	4,899,713	586,825
経常費用計	16,314,403	13,370,070	2,944,333
(うち人件費)	6,973,700	6,614,559	359,141
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,578,421	157,946	△ 2,736,367
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	△ 2,578,421	157,946	△ 2,736,367
当期一般正味財産増減額	△ 2,578,421	157,946	△ 2,736,367
一般正味財産期首残高	1,980,462	1,822,516	157,946
一般正味財産期末残高	△ 597,959	1,980,462	△ 2,578,421
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	87	878,000	△ 877,913
一般正味財産への振替額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	-
当期指定正味財産増減額	△ 999,913	△ 122,000	△ 877,913
指定正味財産期首残高	63,817,110	63,939,110	△ 122,000
指定正味財産期末残高	62,817,197	63,817,110	△ 999,913
<b>III 正味財産期末残高</b>	62,219,238	65,797,572	△ 3,578,334

# 正味財産増減計算書内訳表

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	12,782	—	5,478	—	18,260
受取会費	390,600	—	167,400	—	558,000
事業収益	3,019,700	—	—	—	3,019,700
受取補助金等	4,113,762	—	5,008,238	—	9,122,000
受取寄付金	712,600	—	305,400	—	1,018,000
雑収益	—	—	22	—	22
経常収益計	8,249,444	—	5,486,538	—	13,735,982
(2) 経常費用					
事業費用	10,827,865	—	—	—	10,827,865
管理費用	—	—	5,486,538	—	5,486,538
経常費用計	10,827,865	—	5,486,538	—	16,314,403
(うち人件費)	3,985,490	—	2,988,210	—	6,973,700
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,578,421	—	—	—	△2,578,421
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△2,578,421	—	—	—	△2,578,421
当期一般正味財産増減額	△2,578,421	—	—	—	△2,578,421
一般正味財産期首残高	1,980,462	—	—	—	1,980,462
一般正味財産期末残高	△ 597,959	—	—	—	△ 597,959
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取寄付金	61	—	26	—	87
一般正味財産への振替額	△ 700,000	—	△ 300,000	—	△1,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 699,939	—	△ 299,974	—	△ 999,913
指定正味財産期首残高	44,671,977	—	19,145,133	—	63,817,110
指定正味財産期末残高	43,972,038	—	18,845,159	—	62,817,197
<b>III 正味財産期末残高</b>	43,374,079	—	18,845,159	—	62,219,238

# 貸 借 対 照 表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	490,998	2,267,078	△ 1,776,080
未 収 金	643,669	121,360	522,309
流 動 資 産 合 計	1,134,667	2,388,438	△ 1,253,771
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	61,903,110	62,903,110	△ 1,000,000
基 本 財 産 合 計	61,903,110	62,903,110	△ 1,000,000
(2) 特 定 資 産			
定 期 預 金	878,087	878,000	87
特 定 資 産 合 計	878,087	878,000	87
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	1	1	—
電 話 加 入 権	36,000	36,000	—
その他固定資産合計	36,001	36,001	—
固 定 資 産 合 計	62,817,198	63,817,111	△ 999,913
資 産 合 計	63,951,865	66,205,549	△ 2,253,684
<b>II 負 債 の 部</b>			
1 流 動 負 債			
未 払 金	1,672,107	395,577	1,276,530
預 り 金	60,520	12,400	48,120
流 動 負 債 合 計	1,732,627	407,977	1,324,650
負 債 合 計	1,732,627	407,977	1,324,650
<b>III 正 味 財 産 の 部</b>			
1 指 定 正 味 財 産			
寄 付 金	62,781,197	63,781,110	△ 999,913
電 話 加 入 権	36,000	36,000	—
指 定 正 味 財 産 合 計	62,817,197	63,817,110	△ 999,913
(うち基本財産への充当額)	(61,903,110)	(62,903,110)	(△ 1,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(878,087)	(878,000)	(87)
2 一 般 正 味 財 産	△ 597,959	1,980,462	△ 2,578,421
正 味 財 産 合 計	62,219,238	65,797,572	△ 3,578,334
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	63,951,865	66,205,549	△ 2,253,684